

令和5年度事業計画

新学習指導要領の主題である「主体的・対話的で深い学び」は、将来、答えの無い時代を生き抜く児童・生徒自らが、実際の社会生活での課題を発見し、自ら考え解決策を見出す資質・能力の獲得を目指すことにある。リアルな実験や観察を通じて児童生徒の資質・能力の育成支援を行う理科は、教科の中でも先頭になって担う立場にある。

昨年より高等学校でもその新学習指導要領が開始され、また日本社会での理系人材の拡充の必要性が叫ばれていることも踏まえ、令和5年度は、あらためて小中高を通じ、自ら課題を発見し考える理科教育を推進する年となると考える。

なお新型コロナウイルス感染症の影響が軽減したことから、協会の活動を全般にわたって拡大をさせていくこととする。

1 都道府県・市区町村・学校法人を問わず、すべての学校が観察・実験が十分に実施できるよう全力をあげる。

1-1 理科の実験観察に必要な環境整備のため、十分な予算の確保と、国庫補助申請手続きの告知や研修などの広報・支援業務を推進する。

■国や自治体における実験観察の予算が潤沢に措置されるよう働きかけを行うとともに、設置者が国庫補助申請を適切に行えるよう支援活動を強化する。

■理科教育環境整備が進まない市区町村に向けての活動を進めるため、都道府県等に協力をいただき、都道府県・自治体との協働開催について昨年度以上の実施を目指す。

■事業申請・管理台帳作成等の実務セミナーや個別相談会を全国主要都市で開催し、国庫補助事業の手続きの理解を広める。

■オンライン活用も含め、宜適切な媒体を用いて設置者と学校への正確かつタイムリーな情報伝達を図り、理科教育設備整備事業の普及活動を継続する。

1-2 新学習指導要領に伴う理科教育設備整備事業の新基準品目の整備充実を図る

■小中高等学校における理科教育設備整備新基準において新たに必要とされる観察実験機器についての整備充実を促進する。

■老朽化等から使えない観察実験機器の廃棄促進の周知徹底を図る。

1-3 観察・実験の拡大強化を促進するための調査、分析活動の充実

■学校現場の現状及び課題を調査・分析し、調査結果から得られた学校の現状を広く訴え、理科教育充実のための予算増へつなぐ活動を推進する。

■新しい理科設備基準において、機器の保有現状を詳細に把握し、整備充実につなぐ活動を推進する。

2 「理科の授業は理科室で」の実現を目指し、理科室および周辺環境の整備充実や観察実験がサポートされる環境整備を推進する

2-1 情報端末の普及など学校を取り巻く状況の 変化に積極的に対応する

- 情報端末の児童生徒一人一台が実現した環境の中での観察・実験の在り方を考える。
観察・実験を深めるため、情報端末によるデータ分析など観察実験機器と情報端末の連携を研究する。
- STEAM 教育などの教育の中で理科が中心となって活動を進めることを検討に着手する。
- 中高のなかでの理系分野の女子の増加し、女子生徒も将来の進路として科学を目指す理科好きな女子中学生・高校生育成のための活動の検討に着手する。

2-2 理科教育を支える理科室の環境整備の促進を図る

- 理科室での実験台・収納戸棚・安全施設の充実や理科準備室の整備のため、文教施設全般についての仕組みを把握し、理科教育施設の質的、量的向上を目指す。
- 「観察・実験」で必須となる消耗品予算の確保と継続に向けた啓発活動の展開も推進する
- 理科実験支援員が十分に配置されるべく拡充に向けて活動する。

3 教育用理科機器の安全・品質向上ならびに観察・実験指導の向上を支援する

- 理科観察実験授業における不測の事態発生の状況を調査から実態を把握し、安全・安心に実験機器が使用できるように、刊行物の作成や配布を通じて啓発を図る。
- 既刊の安全・安心資料の有効活用により、啓発活動を強化する。
- 観察実験の拡大に向けて、小学校を中心とした観察実験指導力向上セミナーの開催及び支援活動を行う。
- 教育用理科機器の品質向上のための活動や、諸外国における理科教育の調査を進める。

4 広く社会での理科教育推進の理解が進むような諸活動の推進

- 有識者、国会議員等に理科教育の意義を訴え将来に向けての世論喚起を図る。

5 理科教育の普及啓発に関するその他事業の実施

- 自然災害被災地区における出前授業を通じ、防災、自然災害に対する関心と科学知識が実践で役に立つ学習を目指した活動を行う。
- 各種理科教育啓発事業への協力および参加。

6 関係機関・諸団体との協力活動の推進

- 理科教育を推進する諸団体への活動支援事業の実施。
- 関係機関・諸団体との相互協力の推進。

7 会員・関係者に対する活動の拡大

- ホームページ等による広報活動の充実と会員に対するサービスの拡充。
- 毒物及び劇物取扱責任者資格試験の受験への支援を継続拡大する。

8 公益社団法人として協会の基盤確立を実施

- 会員数・口数の拡充に努め、財務的基盤の確立を進める。
- 公益事業の拡大とそれを支える健全なる会計財務運営を図る。

以 上